

CLOSE-UP Interview

がん予防の研究成果を 多くの人々に伝えたい

生物資源学部教授
田口 寛

日本で年間30万人以上の命を奪う疾病、がん。その予防研究に基礎と応用両面から取り組んでいるのが、三重大学生物資源学部の田口教授だ。一般の人々にも耳慣れた言葉となった抗酸化食品の開発やストレス解消法の実験など、その幅広い取り組みからは教授の好奇心旺盛でユニークな人柄と人々の健康を願う熱い思いが伝わってくる。

写真/食品の抗酸化能を測定。
山が小さいほど抗酸化能が高い。

田口 寛
たぐちひろし
農学博士
専門分野は、分子健康科学・
分子細胞生物学・予防医学
1947年生まれ

訃報を機にがん予防の研究へ

「一番好きなことを趣味にして、二番目に興味のあることを仕事にしよう」そんな子どもの頃の思いを出発点に、研究者の道を歩み始めた田口教授。一番好きなことはエレクトロニクス、二番目は人の健康。大学院進学時にビタミンや酵素の研究を始めて以来、一貫して疾病予防が研究の中心にある。16年前に親しい人をがんで相次いで亡くしてからは、がん研究にも挑むことになった。抗ガン剤の開発では手応えを感じていたが、試験管内での研究と臨床での応用の間には、資金面で大きな壁が立ちだした。「それならがん予防に尽くしたほうが、はるかに多くの人々の役に立てるのでは、と考えたわけです」

共同研究で健康食品を開発

そこで教授が精力的に取り組み始めた

のが、がんをはじめとする生活習慣病予防の研究。生活習慣病の最終的な原因の多くは、活性酸素種であることは知られている。教授は、活性酸素を消去する作用がある抗酸化物質の研究や抗酸化機能性健康食品の開発を進め、既に複数の企業との共同研究を通じていくつかの健康食品の商品化も果たしている。現在は、機能性化粧品素材の共同研究も進行中だ。

ストレス解消法を自ら実験

もう一つ、がん予防のカギとして教授が注目したのはストレス。「食事や運動に気をつけて、タバコも吸わない人ががんを予防するためには、やはりストレス発散が重要なんです」教授はストレスという曖昧なものを数値化・定量化するために、「ストレスメーター」による測定実験を実施。世間に言われるス

トレス解消法を自ら試してみたところ、入浴が一番ストレス発散の効果が高いことが実証された。「もともと風呂は、あまり好きではなかったんですが、実験するうちに好きになってきましたね。日本人が長寿なもの、世界一風呂好きということが一因ではないでしょうか」また、教授の幅広い趣味の一つがオーディオで、ウエスタン300Bの真空管アンプやタンノイの大型スピーカーを含むオーディオシステムが自宅にあるそうです。音への関心は人一倍で、それをストレス解消に結びつけたヒーリング音のCDまで出している。「ストレス解消法の研究は、趣味と実益を兼ねた楽しいものですが、自費もかなり…。特にバラはかかりましたね」カメラの趣味も凄いらしく、10歳から写真をやり始めて、ライカⅢfから最新のキャノンEOS5Dまでの各種カメラを所有し、大学のパンフレットの写真なども提供しているとか。

基礎と応用の両面から

こうした一般の人々にも親しみやすい応用研究ばかりが、教授の研究領域ではない。教授の研究室では、高度な基礎研究と実用化に向けた応用研究の2本柱で研究が進められている。「以前は、自分の興味がある専門分野の基礎研究だけに熱中していました。でも、年を重ねてきて、それも重要だけど一般の人々の役に立つ実用的なこともやろうと思いたったんです」両面から研究を展開していく努力は並大抵ではない。しかし、がん予防に少しでも貢献したいという思いが、教授にあらゆる困難をも乗り越えさせるようだ。

すべての人の幸せを願って

教授自身がストレス発散のために心がけているのは、「ともかく楽しく生きる」こと。教授の口からポンポンと飛び出してくるダ

ジャレや冗談…。それも生活習慣予防のため、と茶目っ気たっぷりに説明する様子はいたずらっ子のような。最近では、健康増進や疾病予防に関する講演活動も熱心に展開している。「がん予防の研究成果をお話しすることで、聞いた人の健康寿命が延びることを期待しています。『健康がすべてではない。しかし、健康がなければ、すべてはない』という私のモットーを、これからも多くの方々に伝えていきたいですね」凝り性の教授をさまざまな研究や活動へ駆り立てる原動力。それは「皆さんが健康で長生きし、幸せになってほしい」と語る、教授の願いから湧いてくるものなのだ。

[URL]
<http://www.bio.mie-u.ac.jp/seimeiki/kinoh/lab1/>



4波長検出器とセルソーター内蔵のフローサイトメーターで、「がん細胞のアポトーシス」について助手と検討しているところ



電子スピン共鳴装置(ESR)で食品の抗酸化能を卒業論文と測定しているところ



無農薬バラ300本を使用した「バラ風呂」でのストレス解消実験



自作の「ストレス解消・健康増進の音シリーズ」CD3部作



教員室はホームシアターやオシロスコープ、カメラなど趣味と実益を兼ねた道具がいっぱい